



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年1月28日

上場会社名 株式会社PALTAC

上場取引所 東

コード番号 8283 URL <http://www.paltac.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 糟谷 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営企画室長 (氏名) 嶋田 政治

TEL 06-4793-1090

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	792,543	0.7	19,944	2.8	21,872	2.0	15,402	2.9
2020年3月期第3四半期	798,396	2.4	19,409	5.2	21,448	6.5	14,974	5.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	242.38	
2020年3月期第3四半期	235.64	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	443,957	231,870	52.2	3,648.80
2020年3月期	418,756	218,297	52.1	3,435.20

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 231,870百万円 2020年3月期 218,297百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		35.00		35.00	70.00
2021年3月期		36.00			
2021年3月期(予想)				36.00	72.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,047,000	0.1	25,000	1.2	27,500	0.7	19,000	25.2	298.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	63,553,485 株	2020年3月期	63,553,485 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	6,337 株	2020年3月期	6,287 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	63,547,183 株	2020年3月期3Q	63,547,216 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算発表後に当社ホームページ(<http://www.paltac.co.jp/tomorrow/index.html>)に掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
3. 補足情報 .....	8
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の環境下において、緊急事態宣言の発出に伴う休業要請、外出自粛要請などにより経済活動が収縮し、景気は急激に悪化いたしました。宣言解除後は、経済活動が段階的に再開していたものの、足下では新型コロナウイルス感染症の再拡大が深刻化しており、先行きは極めて不透明な状況にあります。

化粧品・日用品、一般用医薬品業界においては、衛生面に対する意識の向上に伴う、マスクや手洗石鹸、消毒液など、衛生関連商品の需要増加は続いているものの、レジャーに伴う外出など人出が抑制されるなかで、メイクアップや整髪料などの化粧品の需要は減少している状況にあります。また、外国人観光客の往来再開には依然として目処がたっておらず、外国人観光客に人気が高かったフェイスマスクなどの、いわゆるインバウンド商材の需要についても、大きく減少した状態が継続しております。

このような状況のなか、当社は、従業員の安全を守ることが事業継続の要であるとの考えに立ち、労働環境の整備や衛生管理の徹底に努め、当社の社会的役割である生活必需品の供給を継続しております。

また、今回の感染症拡大に伴い、流通全体の生産性の向上に対する社会的ニーズがさらに上昇するなか、サプライチェーン全体の最適化・効率化を目指した取組みを最終年度となる中期経営計画に沿って継続して行っております。

新物流モデルへの投資は、前事業年度までにほぼ完了し、当事業年度はセンターを稼働させるなかで、効率的に運用するノウハウの蓄積に努めております。同時に、企業間の相互協力による「コストの利益化」や、生活者に商品がわたる店頭を重視し、商談内容の実現率を向上させるとともに、店頭における情報を活用・フィードバックすることで商談の品質向上を図る「売れる仕組みづくり」について、前期に設置した専門部署を中心に取組みを進めております。

特に「売れる仕組みづくり」では、商談内容と店頭情報の連携サイクルをより早く回すことで市場の変化をいち早く捉え、新しい生活様式や天候不順など従来のマーチャンダイジングが通用しづらい環境下においても有効な商品提案に向けて取組んでおります。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高7,925億43百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益199億44百万円(前年同期比2.8%増)、経常利益218億72百万円(前年同期比2.0%増)、四半期純利益154億2百万円(前年同期比2.9%増)となりました。

なお、当社のセグメント報告は、単一セグメントのためセグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて252億円増加し、4,439億57百万円となりました。これは主に、現金及び預金が17億78百万円、受取手形及び売掛金が76億45百万円、商品及び製品が110億16百万円増加したことによるものであります。

##### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて116億26百万円増加し、2,120億86百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が166億30百万円増加したことや、未払法人税等が23億16百万円、賞与引当金が7億91百万円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて135億73百万円増加し、2,318億70百万円となりました。これは主に、利益剰余金が108億90百万円、その他有価証券評価差額金が26億96百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末より17億78百万円増加し、243億53百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は142億56百万円(前年同期比14億58百万円の減少)となりました。これは主に、税引前四半期純利益223億24百万円、減価償却費42億36百万円、売上債権の増加額76億45百万円、たな卸資産の増加額110億16百万円、仕入債務の増加額172億23百万円、法人税等の支払額85億72百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は49億43百万円(前年同期比86億22百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出57億74百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は75億35百万円(前年同期比54億40百万円の増加)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出29億14百万円、配当金の支払額45億4百万円によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年7月29日公表の予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,575	24,353
受取手形及び売掛金	197,229	204,874
商品及び製品	43,398	54,415
その他	16,787	17,517
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	279,982	301,153
固定資産		
有形固定資産		
土地	47,401	47,054
その他(純額)	67,577	68,120
有形固定資産合計	114,979	115,175
無形固定資産	911	766
投資その他の資産		
投資その他の資産	22,888	26,867
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	22,883	26,862
固定資産合計	138,774	142,804
資産合計	418,756	443,957
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,694	176,325
未払法人税等	5,046	2,729
賞与引当金	1,601	809
返品調整引当金	178	210
その他	24,412	21,193
流動負債合計	190,932	201,268
固定負債		
退職給付引当金	2,548	2,632
その他	6,977	8,185
固定負債合計	9,526	10,817
負債合計	200,459	212,086

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,869	15,869
資本剰余金	27,827	27,827
利益剰余金	164,770	175,660
自己株式	△9	△9
株主資本合計	208,457	219,347
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,831	12,527
繰延ヘッジ損益	8	△4
評価・換算差額等合計	9,839	12,523
純資産合計	218,297	231,870
負債純資産合計	418,756	443,957

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	798,396	792,543
売上原価	736,663	730,788
売上総利益	61,733	61,754
販売費及び一般管理費	42,323	41,809
営業利益	19,409	19,944
営業外収益		
受取配当金	278	276
情報提供料収入	1,360	1,319
不動産賃貸料	99	72
その他	409	319
営業外収益合計	2,148	1,988
営業外費用		
支払利息	69	26
不動産賃貸費用	27	26
その他	12	6
営業外費用合計	109	60
経常利益	21,448	21,872
特別利益		
固定資産売却益	—	9
投資有価証券売却益	343	448
特別利益合計	343	457
特別損失		
固定資産除却損	5	6
減損損失	18	—
その他	12	—
特別損失合計	35	6
税引前四半期純利益	21,755	22,324
法人税、住民税及び事業税	6,263	6,468
法人税等調整額	518	453
法人税等合計	6,781	6,921
四半期純利益	14,974	15,402



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	21,755	22,324
減価償却費	3,658	4,236
減損損失	18	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△907	△791
返品調整引当金の増減額(△は減少)	17	32
退職給付引当金の増減額(△は減少)	91	145
受取利息及び受取配当金	△279	△276
支払利息	69	26
投資有価証券売却損益(△は益)	△337	△448
売上債権の増減額(△は増加)	△9,724	△7,645
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,501	△11,016
仕入債務の増減額(△は減少)	24,398	17,223
未収消費税等の増減額(△は増加)	△260	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	△285	621
その他	△1,297	△1,855
小計	24,419	22,574
利息及び配当金の受取額	279	276
利息の支払額	△64	△21
法人税等の支払額	△8,918	△8,572
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,715	14,256
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△15,408	△5,774
有形固定資産の売却による収入	1,442	396
無形固定資産の取得による支出	△157	△69
投資有価証券の取得による支出	△192	△85
投資有価証券の売却による収入	805	610
その他	△54	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,565	△4,943
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,000	—
長期借入金の返済による支出	△4,587	△2,914
リース債務の返済による支出	△123	△116
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△4,383	△4,504
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,094	△7,535
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	55	1,778
現金及び現金同等物の期首残高	18,359	22,575
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,414	24,353

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

①当第3四半期累計期間における販売実績を商品分類別に示すと、次のとおりであります。

商品分類別の名称	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	対前年同四半期増減率 (%)
	金額(百万円)	
化粧品	177,659	△13.2
日用品	364,929	5.2
医薬品	94,368	△11.6
健康・衛生関連品	143,209	12.3
その他	12,377	△1.3
合計	792,543	△0.7

(注) 上記の金額には、消費税等を含めておりません。

②当第3四半期累計期間における販売実績を販売先業態別に示すと、次のとおりであります。

販売先業態別の名称		当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	対前年同四半期増減率 (%)
		金額(百万円)	
Drug	ドラッグストア	499,601	△1.1
HC	ホームセンター	77,271	4.7
DS、Su.C	ディスカウントストア、ス ーパーセンター	53,090	△9.0
CVS	コンビニエンスストア	57,895	0.0
SM、SSM	スーパーマーケット、ス ーパースーパーマーケット	39,914	2.2
GMS	ゼネラルマーチャングダイジ ングストア	26,583	△8.5
その他	輸出、その他	38,186	8.6
合計		792,543	△0.7

(注) 上記の金額には、消費税等を含めておりません。